



発行日
平成17年(2005年)2月15日
(第2号)

編集・発行
エコパートナーシップうじたわら
広報部会

事務局 TEL(88)6635
FAX(88)3231

生ごみ減らし隊プロジェクト 『第1回 生ごみセミナー』の開催

循環型社会・地球温暖化防止部会(部会長=森田木一委員)が主催で、平成17年1月22日(土)に『第1回 生ごみセミナー』を開催いたしました。このセミナーは、平成16年度同部会が掲げている「生ごみ・家庭ごみを減らすことにより、地球温暖化防止を積極的にすすめる」といった目的のため、また生ごみ処理リサイクル啓発の場として開催しました。

各委員がそれぞれに生ごみリサイクルで実際に体験した報告、生ごみ処理機製造業者説明、また、日頃生ごみに対して疑問に思っていることについての質疑等、活発な議論がかわされました。

セミナーには約50名が参加しました。

講演：
芦原委員「コンポスト容器体験からみた生ごみリサイクル」

体験報告：
中田委員「生ごみを出さない生活について」
武光委員「生ごみ処理機(乾燥型)体験について」

業者説明：
「生ごみ処理機(乾燥型・バイオ式)について」



会員紹介 インタビュー 株式会社 山岡製作所 宇治田原工業団地内



山下 貢 さん

1. エコパートナーシップうじたわらに入会したきっかけは

工業団地管理組合の推薦で町役場ご担当よりの要請により、ISO14001取得企業として役立てることが有れば、また、本会の良いところを当社に取り込みたいと思い入会しました。

2. 入会しての感想は

宇治田原町の環境への取組内容は分かりませんでした。町環境保全計画の緻密さ及び他会員の宇治田原を想う熱意に関心しました。

今後は入会目的に近づくようにしていきたいと考えます。

3. 現状の環境問題について及び現状打開の対策について

私も田舎生まれの団塊の世代で、親やまわりから「物を大事に使い」、「捨てるのは勿体(もったい)ない・汚したり散らかしたら自分で綺麗に戻せ」などと言われて育ってきましたが、他の会員の方々も同じことと思います。しかし、我が子にそれを言ってきたか、また、自ら行ってきたかは疑問です。

先人及び改善効果を上げておられる所の良いところを取り入れて、やったらすぐ効果が分かる身近な内容から若い世代(子供・青少年)と一緒に家族・地域・会社ぐるみで実践して価値観を共有する輪を広げていくことからと思っています。

4. 会社(個人)のアピール

当社は、京都府より地球温暖化防止のため、二酸化炭素の削減取組事業所として「エコ京都21」を平成14年に引き続き昨年11月に更新認定を受けております。

個人では、昨年より太陽光発電・ヒートポンプ給湯・深夜電力活用など、省エネを実践中です。

環境生物フォーラム開催（後援 自然・生活環境部会）

名 称：環境生物フォーラム「宇治田原町の豊かな自然と野生生物の世界」
日 時：平成17年2月19日（土）午後1時30分～午後5時（予定）
場 所：宇治田原町総合文化センター 第1研修室
内 容：特別講演 龍谷大学 好廣眞一教授「里山の生き物たち」
調査報告 環境生物研究会の調査報告

事前申込み不要、野生生物等に興味のある方の参加をお待ちしております。

シンボルマーク募集（広報部会）

エコパートナーシップうじたわらのシンボルマークを募集します。
覚えやすく、誰もが親しみやすいシンボルマークの応募をお待ちしております。
応募期間：平成17年2月15日（火）から2月28日（月）
応募方法：郵送、メール、またはFAXにて（下段の応募先をご覧ください）

シンボルマークとして採用されました作品には、素敵なプレゼントを進呈いたします。

「家で眠っている処理後の堆肥」（生ごみ処理機）はありませんか （循環型社会・地球温暖化防止部会）

エコパートナーシップでは、生ごみ処理後の堆肥を使ったモデル畑事業を実施することとなりました。

ぜひ、みなさんで素敵な畑を作ってみませんか。
生ごみ処理機で処理後の堆肥提供に御協力をお願いします。



入会のご案内（一般会員110名 賛助会員 6団体 平成17年1月末現在）

会員の区分

- ・個人会員 = 町民、町内への通勤・通学者、環境に関心のある人
- ・団体会員 = 町内で活動する団体及び法人
- ・賛助会員 = 本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人

会 費

- ・個人会員・団体会員については、無料です。
- ・賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。

入会の方法

- ・入会申込書に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。

部 会

- ・広報部会・・・会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
- ・自然・生活環境部会・・・河川や動植物の学習会、自然観察ファミリーハイキング開催
- ・循環型社会・地球温暖化防止部会・・・生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等

次の方・団体から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

株式会社宇治田原製茶場、宇治田原町商工会、宇治田原町森林組合、協栄開発株式会社
京都やましる農業協同組合、区長会

平成17年1月末現在（50音順・敬称略）

応募先・お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局
（宇治田原町循環型社会推進室）

〒610-0289

京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10

TEL 0774-88-6635 FAX 0774-88-3231

Eメール：junkan@town.ujitawara.kyoto.jp

茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原